

第522回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成19年7月25日(水)
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|--|
| 委員数 | 11名 |
| 出席委員数 | 8名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 田代 高章 |
| 副委員長 | 宮澤 徳雄 |
| 委員 | 大村友貴美 河村 泰信
熊谷志衣子 小林 英男
小松 務 澤口たまみ |
| 欠席委員の氏名 | 伊藤 史典 工藤 和彦
矢佐 俊幸 |
- 会社側出席者
- | | |
|-------|----------|
| 阿部 正樹 | 代表取締役社長 |
| 川島 敬司 | 常務取締役 |
| 柴田 継家 | 報道局長 |
| 川上 隆 | ラジオセンター長 |
| 鎌田 英樹 | テレビ編成局長 |
| 千葉 佳史 | 報道部 宮古支局 |
- 事務局
- | | |
|-------|------------|
| 馬場由紀子 | 番組審議会事務局長 |
| 小笠原 勉 | 番組審議会事務局次長 |
4. 議題 IBC特集『潮風は海をこえて
～海の仲間たちの物語～』

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- ・ホームステイ先での子供たちの生き生きとした表情が伝わってきた。
- ・ニュージーランドと日本との違い、彼らの楽しさや大らかさがすごくインパクトが強かった。逆に、訴えようとしている宮古の良さ、感動は残念ながら伝わりにくかった。
- ・宮古というと漁港で、浄土ヶ浜や漁師さんのイメージが強く、こんなにマリンスポーツ、ヨットが盛んなことを初めて知った。
- ・海を越えて子供たちに世界で羽ばたいて欲しいという橋本さんの思いが根本にあるのですが、ヨットを造る職人さんの海への思い、オークランドに行ったホストファミリーとの交流も表現したいとか、内容が盛りだくさんで、もう少しポイントを絞って構成するべきではなかったか。

<社側>

- ・事象だけを追いかけているという指摘がありました。マリンスポーツは今からが本番です。本当は10月頃にニュージーランドから帰って来て、橋本さんや子供たちが地元で活動している様子を伝えれば、また違ったものになったと思いますが、6月に放送を持ってきた理由は7月に沿岸に来ていただきたい。この番組を見て宮古の夏を楽しんでいただきたい、という気持ちがあったからでもあります。
- ・ローカルの情報には地域にいる人間にしか発信できない。地域に光を当てるのは支局にいる記者でなければいけない、という気持ちを持ちながら取材活動を続けていきたい。貴重なご意見、アドバイス等いただきましてありがとうございました。